No.78

Newsletter

The Friendship Force of Aichi

発行 2008 年 12 月

10 月 2 日から 5 日にかけオーストラリア･ゴールドコーストにおいて 2008 年度世界大会が開かれ、愛知からは 11 名が参加した。この大会において FF 愛知クラブがオーストラリア・アデレードクラブとともに本年度の優秀クラブ賞を受賞した。

また、10 月 16 日から 23 日にかけアメリカ・ミネソタクラブから 22 名のアンバサダーを迎え交換を行った。ミネソタクラブとは約 10 年前に相互訪問を行なっており、今回の交換でより一層の友好関係を深めることができた。

世界大会に参加して

会長 冨岡達也

10 月 2 日から 5 日にかけゴールドコーストで開かれた世界大会に出席してきました。

本大会において愛知クラブがオーストラリア・アデレードクラブと共に本年度の優秀クラブ賞を受けました。APF の成功とその後の活発な活動を評価してとのことです。

受賞した優秀クラブ賞

交換時における皆さんのホスピタリティとアンバサダーとしての行動が先方の ED から高い評価を受けた結果でしょう。

この評価を糧として一層良い交換を進めたいと願っています。また、ここまでに至る諸先輩方の努力の賜物であることは論を待つまでもありません。

大会は、わりにこじんまりしていました。

私はオープニングのリーダーシップセミナーと Next New Generation セッション 3 に出席しました。

大会のキーワードは Next New Generation ということかと思います。

次のリーダーをどう育て、新会員を確保し会の力を維持、高めるにはどうするか、特にベビーブーマーの世代をどう取り込むかが大きな話題でした。詳細は省きますが、セミナーでは SWOT 分析（強み、弱み、情勢分析を行なう方法）によるディスカッションが行なわれました。英語について行けず辟易しましたが、石井嗣代さんが傍にいてくれたので、助かりました。

セッション 3 ではパネリストとして当クラブのホスティングについての考え方を紹介しました。

通じたかどうか、冷や汗三斗の思いでしたが良い経験をしました。ベルギーのマーティンが一緒のパネリストだったので心強い思いをしました。

今回の大会出席を一言で言えば、結局英語で自分の考えを披瀝するこができず不完全燃焼ということでしょうか。皆さんにもこういう場に積極的にどんどん出て行って経験を積んで欲しいと願っています。

Opening Gala Party にて

ミネソタ交換を終えて

伊藤美恵子

ウエルカムパーティー

当初の ED が病気との事で、入会後２年弱で渡航経験も無く、何も分からない状態の私が急遽代理 ED になりました。しかし、経験豊かな事務局の鷹野さん、AED の加藤さんに準備段階から細かく教えて頂き、また、代わりにやって下さったので、私はうろうろしていただけの正に Easy Director でした。

無事に全ての交換を終えることができましたのも、ホスト、デイホスト、担当者ならびに皆様の温かいご理解とご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

さて、22 名のアンバサダーは高齢の方もいらっしゃいましたが皆様大変お元気で、盛沢山の行事を楽しまれました。

企業見学は準備万端、３箇所を訪問し、ランチも好評でした。

ウェルカムパーティーには市議会議長も来て下さり、ご挨拶を頂きました。珍しい琵琶の演奏や手品も大喝采でした。また、折角の機会なので「名古屋城も案内したい」との声もあり、パーティー後の名城見学もしました。

ED の Rubve さんと

京都ツアーでは、三十三間堂－金閣寺－清水寺をスムーズに回り、とても喜ばれた様子、担当者のご苦労も報われました。

最終日のフェアウェルパーティーでは万博記念館を見学後、満開のコスモスの横で太鼓の音が秋空に響き渡りました。会員の心尽しのポトラックや着付けを楽しみ、最後は絣の着物を着た会員が歌う日本民謡に合わせ、皆が手を取り一つの輪になって踊りました。

今回は交換終了後のアンバサダーの行き先が様々で、ホストの方々に見送りをお任せする形になりお世話をおかけしました。

“全員送り出し、無事完了！”のメッセージを会長に送る頃、晴天続きの一週間を待っていたかのように小雨が降り始めました。

フェアウェルパーティーが行われた万博跡地

一人暮らしで ED 未経験の私には、体力不足とホストの二役は少々荷が重く、ご迷惑をおかけした事も多かったと思いますが、“交換は皆で考え、助け合って成功させるものだよ” と言う温かい言葉に励まされ、本当に良い経験をさせて頂きました。また、会員相互間の信頼と友情が如何に強いかも実感することが出来、FF 愛知の伝統にも感服いたしました。皆様、有難うございました。人生に豊かな彩を添える FF に 乾杯！

ミネソタ受け入れ -- ホストの感想

アメリカ人のホストをするのはこの度で六回目です。今回は二度のワークショップにも参加出来なくて、先方からのメールに一度返事をしただけで、相手の年齢も分からないままでした。

ベジタリアンと言うことなので、どの程度なのか、郡山クラブのホストに聞いてみようと思っていたところ、先方より電話があり 喘息もちで、階段の上り下りの時など吸入器を使っていて大変そうですよ！そんな情報聞いてないですよね！」と言われ、エッご老体？と心配していましたが、私の前では一度も吸入器を使われた事もなく、夜たまに咳が聞かれる程度でした。

いつも皆川さんがディナーホストを快く引き受けて下さり、今回は加藤紀子さん、谷川さんと私のアンバサダーが参加で賑やかでした。手打ちうどんの実演には積極的な Rita さんが生地を何回も延ばしたり大きな包丁で切ったりして楽しんでいました。それをすぐに茹でて皆でとっても美味しく頂きました。Jane さんは 滑ってなかなか口に入らない」と言って大笑いしていました。

皆川さんが用意して下さった派手な着物を女性皆で着て、“きよしのズンドコ節 ”を踊りましたが、Jane さんも、谷川さんの心配をよそに元気に踊り、喘息なんか何処へやら・・・・。女性だけで踊っていたら Gary さんと Blain さんも踊りたいと言われ、シャイな日本の男性とは違うなぁと感心しました。

今回は初めてアンバサダーとして来られた方が多かったのか、リターンバンケットを知らないようで・・・。 しかし、御馳走になる時が無いくらい昼食も夕食も一度しか作ってなく、紀子さんのプランに乗っかっただけで、とっても楽な楽しいホストでした。

青山暢子

あっという間の一週間でした。毎日が刺激的で・・緊張の連続でした。

BARDON夫妻はMinnesota大学出身で、元同大学教授（医師）といった経歴の立派なご夫婦でした。

ご夫妻は、徹底した‘vegetarian’で、当初、食事の好みが充分把握できず、いろいろ、とまどいながら、何とか切り抜けてまいりました。牛乳は低脂肪、ヨーグルト、卵、サーモンなどの魚類をよろこばれ、飲み物は、水と緑茶のみでした。 Vegetarianの食事、飲み物については、前もって良く調べ、お客様の希望をよく聞いてから準備をすればよかった・・反省点です・・。

出発前夜のディナーは、アンバサダーからの招待で、野菜中心のレストランへ・・楽しく、有意義な食事会となりました。

BARDON氏の両親は 100 歳以上生きられたそうで、BARDON夫妻も15 年前から食生活を変えられた由。

私達にも食塩を減らして・野菜・果物・豆類中心で・・・と、種々suggestion をもらいました。私事ですが、最近はやりのバナナと水だけの朝食を始めておりますが、無事二人をセントレアで見送った直後、思わずステーキレストランへ飛び込んでしまいました。

一生懸命努力したつもりですが、もう少し英語力があったら、さらに理解、友好の度合いが深まったことでしょう ・・英語力向上の努力を続けたいと思います。楽しい、意義深い一週間でした。皆様のご協力ありがとうございました。

池田千恵子

＊ 事務局からのお知らせ ＊

＊　FF 愛知の新しいロゴが決まる

FF 愛知では来年から正式に新ロゴを取り入れ、旗、名札、等、順次新しいものに変えていく予定です

FFI で製作された新しい字体の愛知クラブのロゴ

friendship force
AICHI

＊　FFI からホストフィーの値上げが発表

2009 年から＄75⇒＄100 になります

[FF 愛知 2009 年活動予定]

1．FF 愛知総会　1 月 17 日（土）11:00～12:00　場所：あいち国際プラザ交流室
　講演会：13:30～14:30　テーマ「最近の中国事情について」
　講　師：　加藤直人（かとう・なおひと）中日新聞社会部デスク（元中日新聞中国総局長）

2．第 22 回日本大会　　2 月 28 日（土）　場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

3．交換　　[渡航]　Waikato and Manawatu, New Zealand　　3 月 15 日～30 日
　　ED：富岡達也　　AED：堀　夏江　　橋本忠幸
　　[受入]　Southland, New Zealand　5月
　　ED：谷川智恵子　AED：西村貴美子
　　Harrisburg and Central North Carolina, USA　11 月

4．2009FFI 世界大会・沖縄　　11 月 19 日～22 日

≪フレンドシップ　フォースの１年の流れ≫

前年 10 月/末：各クラブは FFI へ１年先の交換の希望国をオンラインで手続きしなければならない

1 月　：　各クラブは 1 月から 2 月にかけてクラブ総会を持つ

2 月　：　FFI へ Club Charter Renewal Form [会長、会計、事務局の名前と会員数]を提出
　FFI から Exchange Assignment を各クラブへ送付
　クラブでは FFI から提案された交換プログラムを検討して回答を送付
　FFI へ　FFI の Club Fee [シングル会員$6,家族会員$10] と Club Profile を送付

3 月　：　FFI へ Club Survey [クラブの活動内容の調査]をオンラインで手続きする
　FFI から次年度交換が正式に決定した通知　”It’s a Match”　が順次送られてくる
　クラブは ED を任命し FFI へ Exchange Leadership Information Form を送付し
　交換委員会を設定して交換へ向けて活動を開始する

☆ 10 月末までに FFI は各クラブから提出された交換希望に沿って次年度の交換のマッチング作業を行う　　マッチングが成立した後は、担当地区の FFI コーディネイターに引き継がれ、クラブとの綿密な連絡を取りつつ、交換活動のサポートを行う

FFI の website　：www.thefriendshipforce.org

・新入会員紹介
　戸田加世子さん　瀬戸市在住　紹介者　堀　夏江

編集・発行　：FF 愛知
ホームページ：**http://homepage2.nifty.com/FF-Aichi/**
事　務　局　：〒470-2101
　愛知県知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37
　Tel & Fax 0562-83-8341
　鷹野晴子

編集後記
　FF 世界大会での優秀クラブ賞の受賞を名誉なことと喜んでいます。
　早いもので、広報委員を仰せつかり１年が過ぎようとしています。原稿を書いて下さった方々には大変感謝しています。来年からは表題のロゴを新しくし、これからも一層、明るく楽しいニューズレターをめざします。
　来年もよろしくお願いします。
＜橋本＞